

事務局報告

第91回(2022年度第4回)幹事会 議事要録

日時:9月22日(木)18:30~21:00

場所:Zoomによるオンライン会議

出席者:能城会長,村上庶務幹事,山川会計幹事,真邊行事委員長,浦行事副委員長,工藤編集委員長,星野編集副委員長,藤井自然史学会連合担当,佐々木次期会計幹事

報告事項

1. 会員動向および会費納入状況:2022年8月31日現在の会員数が報告された(名誉会員2名,賛助会員1社,一般会員246名,シニア会員32名,学生会員26名,団体会員4団体)。2022年7月1日からの増減は,入会者5名(一般会員2名,学生会員3名),退会者1名(一般会員1名)であった。会費納入状況について,長期未納者には幹事より会費納入を働きかけることとした。また,学会の口座をゆうちょ銀行に移す手続きが完了したことが報告された。
2. 植生史研究の編集状況:第31巻1・2号(合併号)と第32巻1号が刊行に向けて準備中であることが報告された。また,刊行から2年経過した号について,J-STAGEにてPDFを公開する手続きを進めることが報告された。
3. 第37回大会・第50回談話会の準備報告:ハイブリッド方式にて行う第37回奈良大会の準備について報告され,日本花粉学会との共催で行うにあたっての調整の状況や,第50回談話会として行う春日山巡検の準備状況が報告された。
4. 第51回談話会の準備状況について:葉化石の同定講習会を行うべく,実施に向けて調整が進められていることが報告された。
5. 第13回奨励賞について:第13回日本植生史学会奨励賞の審査の結果,今回は該当者なしとなったことについて報告された。
6. 学会事務委託の契約延長について:株式会社春恒社との学会事務委託契約が10月1日より1年延長されることについて報告があり,承認された。

審議事項

1. 今後の編集・庶務体制について検討し,次期幹事への就任打診と引継ぎ準備状況について確認した。
2. 植生史研究バックナンバー寄贈願について:大会会場となる奈良文化財研究所からバックナンバーの寄贈願が

あったことが報告され,4冊以上を保管している号について寄贈を行うことが了承された。

3. 奨励賞応募書類の様式改訂と内規改正について:従来の生年月日の項目に代えて公示日時点の満年齢を記載する項目を設ける方向で調整することとし,様式改訂にあたり必要となる奨励賞に関する内規の改正について審議し,改正案を2023年度評議員会・総会に諮ることとした。
4. 学会運営改善案の経過報告について:前回大会で示した学会運営改善案について,その後の取組状況について2023年度評議員会・大会で報告することが確認され,報告内容について審議した。
5. 大会最終報の郵送方式と会員からのML投稿記事掲載について:今年も昨年と同様に大会最終報の全員への郵送を見合わせ,郵送のみで学会情報の受け取りを希望する会員にのみ郵送したことが報告され,了承された。また,メーリングリストでの情報告知について,会員から寄せられた情報をすべてメーリングリストで告知することは難しい状況が報告され,ホームページを適宜活用するとともに,メーリングリストの送付回数の把握が必要であることが確認された。
6. 第38回大会(鹿児島大会)について:次回大会を鹿児島大学にて開催することについて準備状況が報告され,2022年度大会に続き日本花粉学会と合同大会とする方向で調整することとあわせて了承された。
7. 次回幹事会日程について:次回幹事会は2023年4月頃にオンライン方式にて開催することとした。

2023年度評議員会 議事要録

日時:2022年9月28日(木)10:30~12:00

場所:Zoomによるオンライン会議

出席者:江口誠一,那須浩郎,百原 新,矢部 淳 評議員,能城会長,村上庶務幹事,山川会計幹事,西内広報幹事,工藤編集委員長

報告事項

1. 2022年度の事業報告および決算報告・会計監査報告(総会資料)を承認した。主な案件は以下の通りである。
 - 1) 昨年度大会で会員に提示した学会運営改善案の1年後の取組状況について検討を行い,経費節減の目標とも関連して2023年度作成予定の学会名簿の発行形態見直しやオンライン談話会の参加費徴収などの検討を進める必要があることが提示され,討議を重ねていくことが確認された。

2. 2023年度事業計画の幹事会案を審議し、承認した。
主な案件は以下の通りである。

1) 会誌刊行の準備状況が報告され、刊行が遅れていた状況を2023年度に回復できる見込みとなったことが確認されるとともに、今後も会員数の減少が予測されるなか会誌の電子ジャーナル化を早めに検討していく必要があることが確認された。

2) 2023年度作成予定の学会名簿の発行形態について協議した。冊子体での発行は見合わせ、名前と所属のみの簡易な紙媒体での名簿発行とPDF化してオンラインで会員のみ閲覧できる形態とする二本立ての方向で調整していくことが確認された。

その他、次の案件について審議した。

1) 奨励賞の審査結果と賞の位置づけについて：第13回奨励賞審査の結果が該当者なしとなったことをうけて、幹事会から奨励賞の趣旨や位置づけを確認しておく必要があるとの問題提起があり、規定と内規に即して審査委員会で厳正な審査を行う必要があるという原則を確認した。

2) 会費滞納時の会誌の郵送状況について：現状では会費滞納時も2年目までは会誌を郵送し、3年目から会誌送付を止めていることが報告され、早期の納入を促していく必要があることが確認された。

2023年度総会議事要録

日時：2022年10月2日（日）11:15～11:55

場所：奈良文化財研究所／オンライン会議のハイブリッド方式

議長：高橋 敦

1. 報告事項

1. 2022年度事業報告

1-1. 庶務

1) 会員動向（2022年9月1日現在）：名誉会員2名、賛助会員1社、一般会員246名、シニア会員32名、学生会員26名、団体会員4団体

前年度比：名誉会員±0名、賛助会員±0社、一般会員-4名（入会+4名、シニア会員への種別変更-4名、退会4名）、シニア会員+4名（一般会員からの種別変更+4名）、学生会員+6名（入会8名、退会2名）、団体会員±0。

2) シニア会員募集を行ったところ、応募はなかった。

3) 2022年度評議員会を2021年10月28日にZoomによるオンライン方式にて、総会を10月31日に帝京大学文化財研究所：笛吹市とZoomによるハイブリッド方式にて開催した。

4) 幹事会を2021年10月10日、2022年4月9日、7月9日に、いずれもZoomによるオンライン方式にて開催した。

5) 2022年度策定の学会運営改善案をうけて、学会運営の改善を進めた。

1-2. 広報・渉外

1) ニュースレター55号、56号、57号、58号を編集、刊行した。

2) メーリングリストによる情報配信を適宜行った。

3) ホームページの保守管理および更新を行った。

4) 会誌「植生史研究」を学会ホームページにて公開開始した。

1-3. 編集

1) 会誌「植生史研究」第30巻第1号、第2号を編集、刊行し、31巻第1・2号を編集した。

2) 会誌「植生史研究」第28巻第2号までをJ-STAGEにて公開開始した。

1-4. 行事

1) 第36回日本植生史学会大会を2021年10月30日・31日に帝京大学文化財研究所（山梨県笛吹市）とZoomによるハイブリッド方式にて開催した。参加者は公開シンポジウム171名（会員96名、非会員75名）、一般研究発表83名（会員のみ）であった。大会実行委員長：中山誠二、大会実行委員：佐野 隆、赤司千恵、工藤雄一郎、那須浩郎、林 竜馬、真邊 彩、浦 蓉子。

2) 第49回談話会を2021年12月18日に開催した。テーマは「オンライン花粉化石勉強会」とし、参加者は約60名であった。講師：林 竜馬（滋賀県立琵琶湖博物館）、藤木利之（岡山理科大学）、安藤卓人（島根大学エスチュアリー研究センター）、佐々木尚子（京都府立大学）。

3) 第37回日本植生史学会大会を日本花粉学会第63回大会と合同で、2022年10月1日・2日に奈良文化財研究所（奈良市）とZoomによるハイブリッド方式にて開催するべく準備した。

2. 2021年度決算報告および会計監査報告

2022年度の決算が報告され、半田久美子会計監査より適正に処理されていたことが報告された。

3. 第13回奨励賞

日本植生史学会表彰規程に則って、第13回奨励賞審査委員会（紀藤典夫委員長、江口誠一委員、塚腰 実委員、那須浩郎委員、矢部 淳委員）を設置し、審査を行った。

2022 年度決算報告 (2021 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日)

取 入	2022 年度予算	2022 年度決算	
一般・シニア・学生会員会費	1,644,000	1,377,000	一般会員 6,000 円×208 名, シニア会員 3,000 円×27 名, 学生会員 3,000 円×16 名
団体・賛助会員会費	60,000	52,000	団体会員 8,000 円×4 団体, 賛助会員 20,000 円×1 社
会誌売上 (特別号含む)	2,000	6,600	
利息	14	1	
大会準備金余剰金	0	4,809	2022 年度大会分
学術著作権	60,000	103,982	前々年度 33,356 円・前年度 90,076 円
小計	1,766,014	1,544,392	
前年度繰越金	5,111,628	5,111,628	
合計	6,877,642	6,656,020	
支 出			
学会事務委託経費			
基本業務委託	450,000	437,191	会員管理 240,840 円, 受付業務 120,000 円など
発送等手数料	93,000	93,859	会費請求 2 回 77,359 円, メーリングリスト管理配信 16,500 円
委託業務経費実費分			
郵送料	138,000	67,377	会誌国内外郵送 63,386 円, 宅配便・メール便 2,759 円等
印刷費	25,000	6,300	ニューズレター 2 回 (メール不可会員宛)
封筒・封筒印刷費	46,000	22,550	角 2(500 部)
コピー代	45,000	6,298	
会誌印刷費			
会誌印刷費	1,200,000	669,130	第 30 巻 1 号 (368,830 円), 2 号 (300,300 円) / 第 31 巻 1 号 2 号未刊行
大会費			
2023 年度大会貸付金	100,000	0	
2023 年度大会準備金	100,000	100,000	
事務経費			
郵送料	5,000	0	会誌移動郵送料等
一般事務経費	5,000	2,585	銀行振込み手数料 (2,585 円)
広報・HP 管理	10,000	9,550	サーバー/ドメイン契約料 (4,312 円), HP サイト管理等 (5,238 円)
J-STAGE 登録	50,000	0	入力作業アルバイト代 (500 円/件) 等
幹事会など会議等			
旅費	25,000	0	会計監査旅費, 自然史学会連合出張旅費 オンライン実施
自然史学会連合分担金	20,000	0	2022 年度は徴収なし (20,000 円/年)
行事費			
オンライン経費	50,000	44,000	オンライン機器類 (オーディオミキサー 1 台)
講師謝金	30,000	0	会員講師による Zoom 談話会 (新型コロナウイルスによる巡検見送り)
表彰関係			
賞受賞者懇親会招待	10,000	0	(5000 円×2): Zoom 懇親会
優秀発表賞関連経費	60,000	30,000	30,000 円×1 件
国際会議等への参加助成	50,000	50,000	50,000 円×1 件
予備費	100,000	0	
合計	2,612,000	1,538,840	
次年度繰越金	4,265,642	5,117,180	

その結果, 審査委員会は第 13 回日本植生史学会奨励賞について「該当者なし」と決定した。

4. 第 7 回優秀発表賞

日本植生史学会表彰規程に則って, 第 7 回優秀発表賞審査委員会 (江口誠一委員長, 工藤雄一郎委員, 高原光委員, 那須浩郎委員, 矢部 淳委員) を設置し, 審査を行った。その結果, 第 7 回日本植生史学会優秀発表賞は次の 2 件の発表に決定した。

1. 平岡 和・那須浩郎・金子明裕「縄文時代におけるニワトコ属果実の用途の推定」
2. 設楽拓人・松井哲哉・津山幾太郎・百原 新「北東

アジアにおける最終氷期の遺存樹木 3 種の種分布モデリングによる分布変遷の推定」

5. 会員の除名

会則第 4 条 h に則り, 会費の長期滞納により 2 名の会員について, 2022 年 12 月 15 日までに納入がない場合は除名することとした。

6. 自然史学会連合活動報告

- 1) 2021 年度運営委員会 (2021 年 5 月 20 日, 7 月 16 日, 2022 年 1 月 10 日, 3 月 17 日) を開催した。
- 2) 2022 年度運営委員会 (2022 年 6 月 6 日, 9 月 10 日)

を開催した。

3) 2022 年度総会 (2022 年 1 月 10 日) をオンライン開催した。

4) 博物館法の一部改正に対する声明案と要望案の検討を加盟学協会に諮った (2022 年 7 月 26 日)。

5) 仙台シンポジウム「海と地球の自然史」(2022 年 10 月 24 日, 主催: 藤原ナチュラルヒストリー振興財団, 会場: 仙台国際センター (オンラインとの併用)) を後援した。参加人数は合計 160 名 (オンライン 125 名以上, 会場参加 35 名) であった。

6) 中学生高校生シンポジウム「海を探る, 海を調べる。キャリアと研究 V」(2022 年 2 月 1 日, 主催: 海洋生物学アウトリーチ研究会, 成蹊学園サステナビリティ教育研究センター, オンライン開催) を後援した。

II. 審議事項

1. 2023 年度事業計画

1-1. 庶務

1) 2023 年度評議員会を 2022 年 9 月 28 日に Zoom によるオンライン方式にて, 総会を 2022 年 10 月 2 日に奈良文化財研究所: 奈良市と Zoom によるハイブリッド方式にて開催する。

2) 第 14 期会長選挙および評議員選挙を実施する。

3) 会員名簿を編集・発行する。

4) 第 8 回優秀発表賞の選定を行う。

5) 第 7 回論文賞の選定を行う。

6) 第 6 回学会賞の公募および選定を行う。

7) 幹事会を 3 回程度開催する。

1-2. 広報・渉外

1) メーリングリストによる情報発信を適宜行う。

2) ニュースレターを編集・刊行し, 配信はメーリングリストを中心に行う。

3) ホームページの保守管理および更新を行う。

4) 会誌「植生史研究」をホームページにて公開を行う。

1-3. 編集

1) 会誌「植生史研究」を編集し, 第 31 巻第 1・2 号, 第 32 巻第 1 号, 2 号を刊行する。

2) 会誌「植生史研究」J-STAGE にて公開する。

1-4. 行事

1) 第 37 回日本植生史学会大会を日本花粉学会第 36 回大会と合同にて, 2022 年 10 月 1 日・2 日に奈良文化財研究所 (奈良市) と Zoom によるハイブリッド方式で開催する。また, 第 50 回談話会として春日山原始林の

エクスカージョンを開催する。大会実行委員長: 星野安治, 大会実行委員: 山崎 健, 庄田慎矢, 西原和代, 浦蓉子, 上中央子, 前田仁暉, 真邊 彩, 池田浩己, 伊藤由紀子, 林 竜馬。

2) 第 38 回日本植生史学会大会を 2023 年 10 月下旬から 11 月上旬頃の土日に鹿児島大学 (鹿児島市) において開催するべく準備する (COVID-19 の状況次第でオンラインでの開催も検討)。

3) 第 51 回談話会 (2023 年 1 月か 2 月頃) をオンライン方式も含めて開催するべく準備する。

4) 第 52 回談話会を第 38 回大会の巡検として開催するべく準備する。

2. 会計監査の選出

2023 年度会計監査を半田久美子氏が担当することが確認された。

3. 奨励賞に関する内規の改正

表彰規程に即して「第 1 著者」の表記を「筆頭著者」に改めること, また, これまで奨励賞の応募にあたり候補者の生年月日の記載を必要としていたが, これに代えて公示日における満年齢を記載することとするについて, 賛成多数で承認された。

4. 2023 年度予算案

2023 年度予算案について賛成多数で承認された。

会員動向 (2022 年 7 月～9 月)

新入会員 (敬称略)

杉本 亘 (学生) 千葉大学

中村英人 (一般) 北海道大学

西内 巧 (一般) 金沢大学

早川万穂 (学生) 北海道大学

矢野滉紀 (学生) 北海道大学

近藤佳乃子 (学生) 北海道大学

退会会員 (敬称略)

扇崎 由

第 13 期日本植生史学会役員

(任期: 2021 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日)

会 長 : 能城修一

評議員 : 江口誠一, 那須浩郎, 百原 新, 矢部 淳

会計監査: 半田久美子

幹 事 : 村上由美子 (庶務), 山川千代美 (会計), 西内 李佳 (広報・渉外)

2023年度予算案(2022年10月1日～2023年9月30日)

取 入	2023年度予算	
一般・シニア・学生会員会費	1,662,000	一般会員 6,000 円× 250 名, シニア会員 3,000 円× 30 名, 学生会員 3,000 円× 24 名
団体・賛助会員会費	52,000	団体会員 8,000 円× 4 団体, 賛助会員 20,000 円× 1 社
会誌売上(特別号含む)	2,000	2022 年度 6,600 円, 2021 年度 0 円, 2020 年度 2,400 円
利息	10	
大会準備金余剰金	0	
学術著作権	90,000	2022 年度 103,982 円, 2021 年度 90,076 円
小計	1,806,010	
前年度繰越金	5,117,180	
合計	6,923,190	

支 出

学会事務委託経費		
基本業務委託	450,000	会員管理(700 円× 316 件), 受付業務 120,000 円, 等
発送等手数料	100,000	会費請求 2 回 76,000 円, メーリングリスト管理配信 16,500 円等
委託業務経費実費分		
郵送費	70,000	会誌郵送 128,000 円, 宅配メール便ニュースレター 1 回分 10,000 円等
ニュースレター印刷費	10,000	ニュースレター 1 回分
封筒・封筒印刷費	25,000	角 2(500 部)
コピー代	10,000	
名簿作成費		
作業費	65,000	会員 311 名分(調査票作成・データ修正)
名簿編集	55,000	
選挙費(会長・評議員)		
投票用紙製作・発送費	155,000	会員 311 名分
会誌印刷費		
会誌印刷費	1,200,000	第 31 巻 1 号, 2 号, 第 32 巻 1 号, 2 号
大会費		
2024 年度大会準備金	100,000	
事務経費		
郵送費	3,000	会誌移動郵送費等
一般事務経費	3,000	文房具, 銀行振込み手数料等
広報・HP 管理	10,000	サーバー/ドメイン契約料, HP サイト管理等
J-STAGE	5,000	入力作業アルバイト代(500 円/件)等
幹事会など会議等		
旅費	25,000	会計監査旅費, 自然史学会連合出張旅費
自然史学会連合分担金		
	20,000	20,000 円/年
行事費		
オンライン経費	5,000	オンライン研修等, Zoom 契約料
講師謝金	30,000	談話会・巡検等
表彰関係		
学会賞副賞	30,000	
賞受賞者懇親会招待	0	オンライン懇親会(5000 円× 2)
優秀発表賞関連経費	60,000	30,000 円× 2 件
国際会議等への参加助成	50,000	50,000 円× 1 件
予備費	100,000	
合計	2,581,000	
次年度繰越金	4,342,190	

編集委員会: 工藤雄一郎(委員長), 星野安治(副委員長)

行事委員会: 真邊 彩(委員長), 浦 蓉子(副委員長)

自然史学会連合担当: 藤井伸二

クスビル

(株)春恒社 学会事業部内 日本植生史学会事務局

TEL03-5291-6231 FAX 03-5291-2176

E-Mail: hisbot-office01@shunkosha.com

各種連絡先

入会・異動・退会・講読の申し込み

(バックナンバー購入, メーリングリストアドレス登録・変更, メーリングリストへの投稿記事)

〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダッ

その他の連絡先は, 以下の通りです。

連絡・問い合わせ, 転載許可申請, シニア会員申請
庶務幹事 村上由美子

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学総合博物館

Tel : 075-753-3279 Fax : 075-753-3277

E-mail : hbmain@hisbot.jp

雑誌投稿に関する問い合わせ, 企業広告送付先

編集委員長 工藤雄一郎

E-mail : hbjournal@hisbot.jp

ホームページや企業広告に関する問い合わせ

広報・渉外幹事 西内李佳

E-mail : hbnews@hisbot.jp